

① 『メガネと補聴器』は、似ているようで違います。

メガネの場合

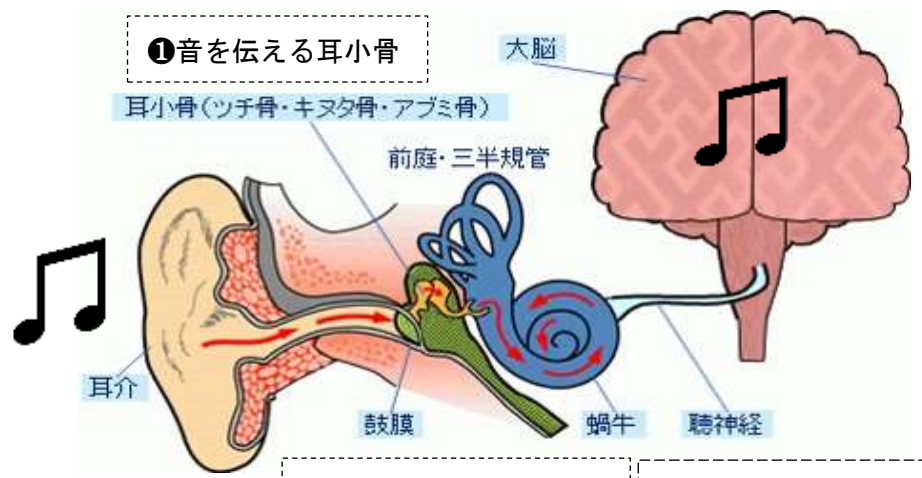


メガネはかけるとすぐ見える！

補聴器の場合

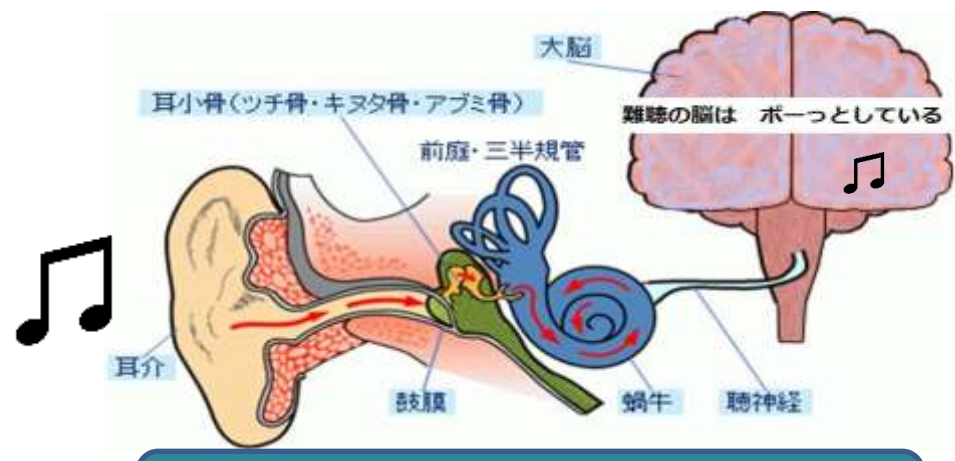


補聴器はつけただけではすぐには聞こえない？



正常な聞こえ

②音を電気に変える蝸牛 ③電気を脳に伝える聴神経



難聴の聞こえ

難聴は、脳に伝わる電気が弱い状態

「耳は脳へ音を伝える役割」で
実際に聞いているのは「**脳**」です。

「難聴の脳」は長い期間、音が伝わりにくい
状態に慣れてしまっているのです。

↓ そこで… ↓



②

補聴器をよりよくきこえるようになるためには、音が伝わりにくい状態に慣れてしまった耳(脳)に少しずつ音をいれて耳(脳)を慣らしていくことが必要です。いわば“**耳(脳)のトレーニング**”です。

①音に慣れるためになるべく長い時間補聴器をつける

②定期的に音の調整(音を上げる)をしながら

③補聴器をつけた状態の測定を行い効果の確認をすることも重要です！

効果の測定は補聴器をつけて**大型聴力測定室**の中で測定します。

(※音の反響、騒音の影響を受けないのでより正確な測定ができます。)



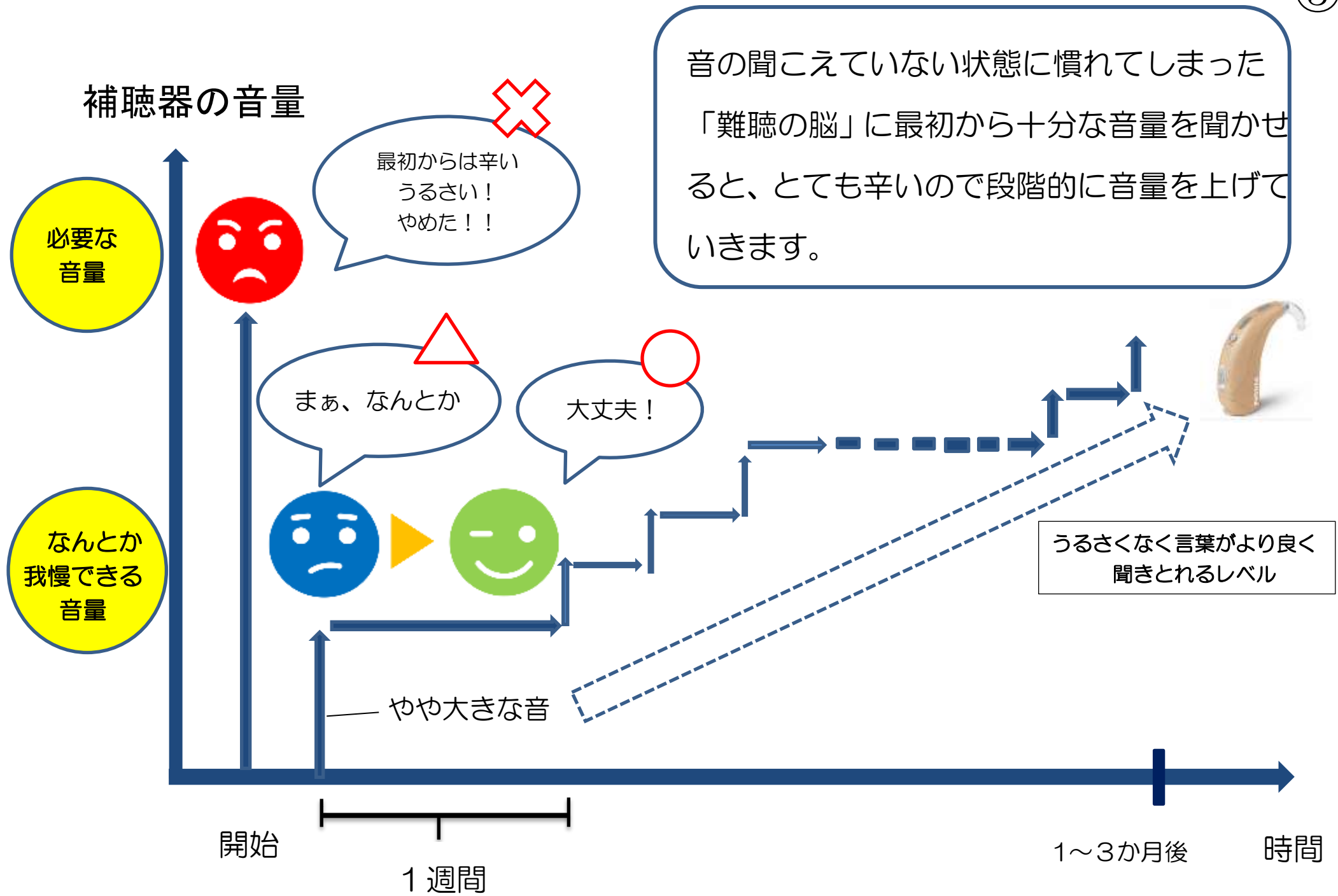
日本聴覚医学会の「補聴器適合検査の指針(2010)」の条件を満たしている聴力測定室です。



↑ 聴力測定室で効果の測定の様子

メガネが視力に合うか検査するのと同じように補聴器もあっているか調べるためにつけて検査するんじゃない。



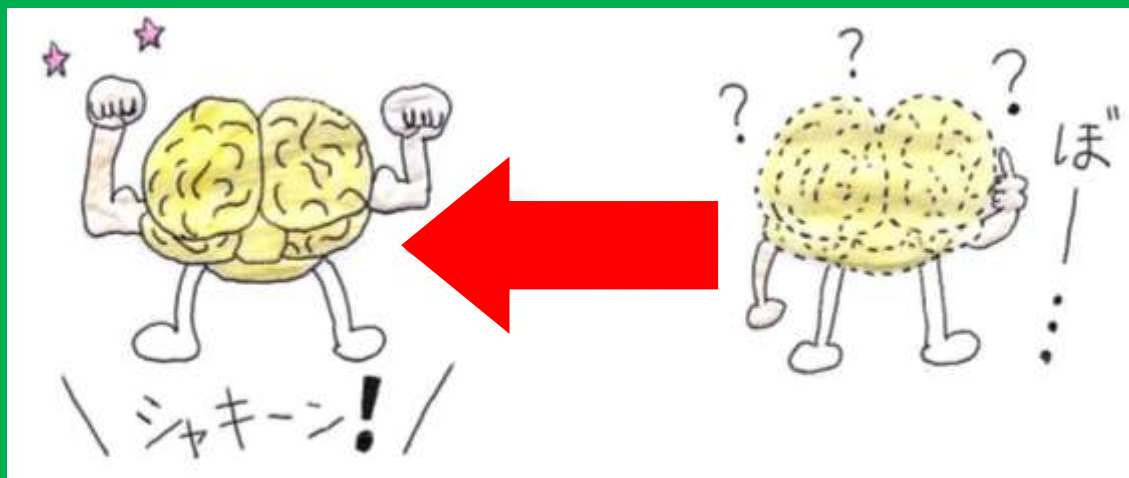


トレーニングすると脳はどう変わる？

④

シャキッ！としている
「トレーニングした脳」

ぼーっとした
「難聴の脳」



- 補聴器の音がだいぶうるさくなくなった。
- ことばの聞き取りが改善！

- 補聴器の音がうるさい。
- ことばをうまく聞きとれない。

できるだけ補聴器をつけて、音に慣れないと脳は変わらないんだね。



ご家族は、できるだけ
「普通の声で、ゆっくり、ハッキリ」
話しかけてくださいね。

早口は苦手だから
ゆっくり話そう！

今までみたいに
大きな声をださなくても
いいんだね！



補聴器を使ってきこえやすくなるためには、

「あなたの聞こえに合わせて
正しく調整された補聴器」で

「しっかりトレーニングを続ける」
ことです。



私たち補聴器のぴあは、たんに補聴器という機械の販売・お手伝いではなく、
補聴器を通してきこえやすくなることで生活が今よりも快適になって
人生を明るく元気に楽しんでほしいと考えています。

大切な体の一部「耳」となるものだからこそ、安心・納得して使っていただきたいです。

ご相談・聴力測定は無料です。どうぞお気軽にご相談ください。



きこえのトータルサポート

補聴器のぴあ